



# 自ら追究する国語学習

浅岡 修一

国語研究委員会では、昨年度までの研究成果、および郡の研究テーマをふまえて、次のようなテーマを設定した。「子どもが自ら追究する国語学習は、どうあったよいか」本年度の研究の方向として、次の二点を考えている。

(1)、テーマにそって、種々な領域・分野にわたり、「子ども」の側、指導の側、教材の側の面から構造化し、関連的にみて授業の構築を図る。

(2)、子どもの生活経験と課題意識に深くかかわった「教材の選定」、子どものみとりを積み重ねた中からの「学習課題の設定」をする。また授業研究会では、授業の中での子

# 力をめざして

## 中間報告

子どものとらえと解釈を重点において、研究を深める。

第一回研究委員会は、さる七月三日(火)、常盤中学校で行われた。常盤中の研究テーマは、「生徒が自ら追究する説明的文章の指導は、どうあったらよいか―具体的な事柄に注目して―」であった。教材「日本語と国際交流」(単元名、新しい目で)、を、二年四組で、笠井淳先生に、授業公開をしていただいた。教師のとらえた生徒の姿は、次の通りである。

①文章の内容を自分の身近な問題と結びつけて理解できない。

②説明的文章の読解に興味・関心をもてない。

③筆者の論理の展開をつかむことが苦手である。そのような生徒に対する指導の手だてとして、次の三点を考えた。

①導入において、話題について話し合う場を設けることよって、問題意識を奮い起こし、教材に対する興味を促す。

②生徒が興味をもった具体的な事柄について、資料を調べる等して、生徒自身に追究させる。

③筆者の論理に気づくために、興味をもって調べた事柄を中心として、それと関係ある事柄を書き込んでいく「学習カード」を工夫する。

持った事柄と、何らかの関係がある事柄(言葉、語句、文)を見つけて、「学習カード」にその関係についてまとめる。自分なりの考えを積極的に「学習カード」に記入していた。

授業研究会では、「学習カード」の書き方、形式、活用の仕方について論議が集中した。指導者の清水孟先生(長野教育事務所指導主事)は、「固定化された『学習カード』で、筆者の論理に気づかせるのは多少無理がある。」と、指摘された。今後は「学習カード」の活用を含めて、テーマをより深めていきたい。

(高山中)

## 社会科

社会科研究委員会では、子ども達がねばり強く自己形成していくためのひとつの窓口として、昨年来「子どもの心情に合った素材の教材化」を取り上げ研究を進めてきている。

教材というものは目の前にいる子どものために用意されるべきものであって、教材が子どもの心情に寄せられていた時、子ども達は自分らしさを出して動き出す。その子

小林 裕

らしいこだわりの持って追究をするようになる。

第一回研究委員会は、小布施中学校で実証授業がおこなわれたが、とかく教師の説明や板書等待つような、受身の姿勢が強くなり勝ちな中学生だが、本時の場合、どの生徒もみんなに分かる声で、はっきりと自分の考えを発言したり、自分なりのこだわりの持って授業に集中していた。

の心情に合うように工夫すれば、受身になり勝ちな中学生も明らかに変わるのである。

第二回は、日滝小学校での実践であるが、五年生の伝統工業の教材化をいかにするかを研究中である。

昨年末、研究を重ねる中で教材化にあたっては、

- 事象を確かに見させること
- 新鮮な出会いをさせること
- 子ども達の意識の中に矛盾をひきおこすこと

の必要性を痛感している。そういう中で、子ども達は教材にはれこんだり、いろいろな事実を発見し、追究したいものを生み出していく。

(森上小)

## 校歌・校章めぐり ⑩

墨坂中学校



### 墨坂中学校校歌

一松の葉を色あせて  
五岳の峰を雲は高く  
若くは心は胸に燃え  
わが墨坂の心を  
わが墨坂の心を  
わが墨坂の心を  
わが墨坂の心を

本校の校章は昭和三十三年初代校長増田新三郎先生の発案で、学校のまわりにたくさんあるアカシアの葉を使ってデザインできないかというこ

とで、校章制定のはこびとなりました。アカシアの花ことばは「友情を大切に、よい学校にしよう」と校章が呼びかけているわけです。

校歌も昭和三十三年に、作詩者大日方千秋先生、作曲者清水弥平先生によってつくられたものがあります。

作詩者大日方先生

は「一番に松をとり上げ、二番に千曲川の瀬音をとり上げ、三番には、がらりと変わって抽象し、つなぐから強いちかいかけて結んだ」と話されました。

作曲者清水先生は「美しい環境であり、緑の松あり、遠くに五岳あり、自然のままが残されているので、美しい雄大な自然環境を最初の旋律に出し、若い諸君のために、すじ金を一本通して、困難に打ちかかっていくことがほしいと願い、最後の旋律に生かした」と話されました。

両先生のお気持ちは「遠く飛驒の山なみに対しながら、朝夕に口ずさむ生徒の中に、美しい情操といのちが成長していくことにある」と思われます。

(竹内正勝)

# 子どもの生き

## 研究委員会

### 特殊教育



丸山 武雄

研究テーマは、研究の連続であるので、「個々の障害の多様化している学級集団で、ひとりひとりが自ら課題を発見し、意欲をもってとりくむ態度をどのように指導したらよいか―人間としての自立をめざして―」であり、授業研究を通じて、テーマに迫ることとした。

第一回研究委員会では、研究授業を高山中学校（授業者・渡辺武彦先生、講師・斉藤順一先生）で、「他の人の気持を思いやりたり、協力することの苦手な生徒に、文化祭で人形劇（ヘンゼルとグレーテル）を上演するために、人形劇での役割を分担し、ペアで練習することによって、相手の気持ちを考えて、仲間と協力して活動することの楽しさ

を得、意欲をもって活動に取り組めるようになる」の仮説を立て、生活単元「文化祭でステージ発表をしよう」を設定した。この単元では、生徒の実態に合わせて操作するものと声を出すものと役割を分担できること、人形を操作することを通じて人形に寄せて自分を見つめられること、みんなで一つのものを作り上げていくことで喜びも大きいし、仲間意識も育てられる。文化祭での上演により、大勢の人から認められ、次の活動への意欲づけになる等、人形劇のよさを生かして取り組んだ。

授業研究を通じて示唆されたことは、(1)成就感を得させるための条件―学習の目標の個別化、実態把握、学習内容・教材が適切、教示、課題の

まかせ方、評価のさせ方等、(2)台詞と人形の動作の練習の過程と場面設定、(3)台詞を読む・人形操作、人形作り等で後発展させたい。(栗ガ丘小)

### 一人ひとりが生きる技術・家庭科の学習をめざして

平林 博

パソコンやワープロなどの進歩発展は著しいものがあり、まさに情報社会が到来している。新学習指導要領では、技術・家庭科に「情報基礎」領域が新設されるとともに、各教科の学習指導においてコンピュータの効果的活用を配慮するよう求められている。技術・家庭科研究委員会では本年度の研究テーマに「一人ひとりが生きる技術・家庭科の学習」をすえ、第一回の研究委員会では「情報時代に生きる実践力の育成」をサブテーマとして、テーマに迫ることとした。本年度は長野県技術・家庭科研究大会の当番郡市であったので、授業研究会は六月九日（土）常盤中学校での公開授業をもって第一回の研究会にかえた。

当日は二〇〇余名という例年になく多数の参加者を得て三年被服の型紙づくりの場面で、パソコンを使って一人ひとり自分のデータを処理し、自分の体の原型を描き、その結果について検討した。採寸結果から原型をつくるのは、複雑で時間がかかるため、省略されることが多かった。製

つける力（スモールステップによる分析）、(4)日ごろのすばらしい学級作り等であり、今後発展させたい。(栗ガ丘小)

### 同和教育

宮沢 勲

本年度は、昨年度の研究の上に立ち、課題をもっと明確にし、委員会としての研究テーマをもっと焦点化していくこと。また、解放子ども会の教材化の研究を通して、人権感覚の育成をはかるという目的に、どう迫っていくのがよいか、などの課題を中心に進めた。第一回の研究会では、クラスのことを心配する児童の言葉から、クラスの現状をつかみ、自分たちが、生き生きと生活できない原因や、事柄を考える活動を通して、自分や相手の抱えている問題や悩みを見つめさせ、仲間と支えあいや、相手を尊重することにによって、より生き生きとしたクラスを作っていくこととする姿勢を育てることを主眼にすえ、「クラスを考える 仲間を考える」の主題で授業を仕組み研究した。学級の実態からは、仲間同士のつながり方が表面的で希薄になり、自己中心的な言動が、相手を傷つけたり、相手に対して無関心になったりして、いなかで、互いを尊重し、支え合っていくことができない。生徒たちは、そのような状態に不満を感じながらも、それを打ち破ることができずに、かえって「仲良し」グループ



(高甫小)

# 火ばら談義



新任地に来てやっと半年が過ぎ、この頃になってようやく学校の雰囲気にも慣れてきました。

今、こうして保健室の机に向かい、忙しい執務の手を休め、四月からのことを顧みるといういろいろと反省させられる面がありました。

## 転任して思うこと

手塚とし江

「意欲的に取りくもう」という心がまえに欠けていたように思われます。

日々の子どものたちの生活を見るにつけ「どうにかしなければ」という意気のみだけはあるのですが、なかなか思うようにならずいつも私の心を悩ませている毎日です。

出勤と同時に「先生!!○○さんがけがをしたから早く

!!」朝のねむりからさめきらぬ保健室、その静寂を破るかのうようにドアをいっぱいにおけ、「おはよう」と声をかけます。元気な声のかわりに苦痛の悲しい顔が痛々しい。いつものように治療をしながら……(さあ一日のはじまりだ)

保健室に入ってくる時の子どもの姿は、時には泣きながら、時には恥かしそうにと様々です。気持ちが悪い、頭が痛い、腹痛を訴える子ども等に発熱がない子が多かったです。前後の低体温の子があったり、少しの時間もじっとしていられない子どももいます。

けがをして学校健康センターのお世話になる件数も多い中で、今の子どもたちにとって対処していったらよいか、いろいろな問題がなげかけられているように思います。

保健室は、病める子の安らぎの場であり、また大切なコミュニケーションの場でもあります。養護教諭として務めていく限り、子どもたちのために、力強く生きて行こうと考える今日この頃です。

(小山小)

## 暑かったけど、短かった夏

市川 英臣

教員になって一年目、「さあ、この長い夏休み、思いっきり遊ぼうぞ。」

動向表を見て自分の考えの甘さを知った。これが社会の厳しさなんだ。初任者研修、職員研修、日直、部活動その他色々。ベテランの先生方は笑うかもしれないが、学生時代とのギャップの大きさ、端で見ていたよりは優雅な職業でないことを実感した。

四月四日。教師となつての第一日目に校長室で「卓球部の顧問になってくれ。」と頼まれたのはいいものの、「さて、自分で指導できるのだからか。」と不安が頭をよぎった。実際はその奥の深さに圧倒されるばかりで、「これは

## 無人駅の掃除

松野 隆

無人ではあるが駅舎のある日野駅にたどり着き、「やれやれ、今日一日の仕事も終わった。」と、ほっとするが、とたんに気になるのは床に散乱するゴミと壁の落書きである。「では、今日も始めるか。」と、隅に掛けてある町児重会のほうきを取って掃除をしすが、煙草の吸いながら乗車カードまで、そばにゴミ箱や吸がら捨てがあるのに、見ている人がいないとい

一日でも休めない。「一日でも休んだらその後が怖い。」と思うようになった。

先日、他校との練習試合で「お宅の子どもたちはマナーがいい。本当に賢そうだ。」と相手校の先生に言われた。顧問として本当にうれしい一言だった。卓球はうまいがどこか抜けている部長。最近大声で一年生を怒鳴りつけ、部員一人ひとりの気持ちを本気で考えているマネージャー。時々へまをするがどこか憎めない悪ガキ共。今、クラスを持つていない自分にとって一番の宝物である。

けれどこんなこと、部員達の前では恥ずかしくて絶対に言えない。

(東中)

## 須高の自然②

延命地藏の

エドヒガン

(須坂市天然記念物) 堀米 富平



豊丘小学校の門の前の丘の上にある。開花はソメイヨシノより一週間程早く、紅をふくんで艶麗さわまりない。

地元では大桜と呼んで親しまれてきた。樹齢四〇〇年余で市内最高級の名木である。

須高に自生はなく、かつてここに存在した地藏堂の靈地に特に植えられたと解される。主幹は損傷、老化しつつあるが、根元の子株が四方に出て生長さかんである。

根廻り五・九五呎、樹高約一〇呎、枝張り東西・南北とも一五呎余である。

別名アズマヒガン、バラ科、主に関東以西の低山帯に分布する。

シダレザクラの実質母種であり、幕末に江戸に出現したソメイヨシノも本種とオオシマザクラの交雑種である。がく筒がふくらみ花柱有毛が特徴的である。(高山小)

## 編集後記

乾き切っていた夏から、雨多き秋になりました。輝かしく躍動的だった子どもたちの姿も、雨とともにじっくり落ち着きを増しているように思われます。

今回は、各研究委員会の間報告を特集させていただきました。お忙しい中、原稿をお寄せいただきありがとうございます。実り多き秋、大いに語り合えればと願っています。

(朝間・牛山)